2022(令和4)年度卒業時アンケート

2023(令和5)年5月10日発行

教学 I Rセンター 教務委員会 学生生活委員会



2022 (令和4) 年度卒業時アンケート実施概要

1. 実施名称 2022 (令和 4) 年度卒業時アンケート

2. 実施目的 本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生 支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること等について卒業時 における現状を把握するとともに本学の教育改善の参考資料とする。

3. 実施対象者 2022 (令和 4) 年度卒業生

4. 実施期間 2023 (令和5) 3月2日(木)~5日(金)

5. 実施方法 Webアンケート方式 卒業式前日説明会の一部時間を使用し、パソコン教室で一斉実施する。 未入力者がいれば、メールでの回答を促す。

6. 回答数(回答率) 回答数 100 名/卒業者数 104 名(96.2%)

7. 実施責任者 教学 I R センター医学教育点検推進室 山岸 秀嗣

8.協力 教学 IR センター事務局 教務委員会 学生生活委員会 学務部教務課

9. データ管理等 得られたデータは、個人名が特定されない形で、教学 IR センターが管理するデータベースに保管する。データは、個人名が特定されない形で、報告書や獨協医科大学教学 IR センターのウェブページなどで公表する。収集した個人情報は、教学 IR センターにて適切に管理し、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施する。また、本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供しない。

2022 (令和4) 年度卒業時アンケート結果概要

教学 IR センター 山岸 秀嗣

本年度も卒業生に対して、卒業時における本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度や本学に期待することなどについて調査を行った。アンケート調査は、2023年3月2日の卒業式前日にコンピューター室においてWebアンケート方式で実施した。回答率は、96.2%と非常に高かった。

本アンケート結果について、次の項目に分類し、概要を記載する。

<ディプロマ・ポリシーに関するアウトカム調査>

本学の各ディプロマ・ポリシーに対して卒業時における自己評価を測定した。

医学知識・臨床能力・プロフェッショナリズムの領域では、90%以上の卒業生が「身についた」と回答している一方で、能動的学修能力・リサーチ・マインド・人間性の領域でおいて最大で27%の卒業生が「あまり身につかなかった・身につかなかった」と回答している項目がみられた。具体的に、社会的視野(医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。)、リサーチ・マインド(最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。)の達成度が低い結果であった。この結果は、昨年実施した卒業生アンケート調査(卒業後1年目および、その指導医に対するアンケート調査)でも同様の結果がみられた。

<各能力の習得に関する調査>

倫理観、リーダーシップ能力、教養・人間性、表現能力、交際化への対応能力、研究能力の6領域の習得度についての調査を実施した。その結果、倫理観や教養・人間性の習得度が高一方で、研究能力(38%)、語学など交際化への対応能力(36%)、リーダーシップ能力(22%)の順で、習得度が低い結果となった。

<6年間の教育に関する評価>

全学年を通して、半数以上が「満足(非常に満足・やや満足)」と回答しており、低学年に比べて高学年に向かうにつれて満足度が高くなっている。しかし、低学年(基本医学教育科目)においては、15%の卒業生が「不満足(やや不満足・非常に不満足)」と回答しており、教育内容や課題の量に対する改善を要する意見がみられた。また、物理科目に対しての意見が散見された。

今後の教育に望まれるものとして、不得意科目の学修支援、医療以外の科目(経営・経済学)、初年次教育、コミュニケーション教育などの充実などが挙げられた。

<国家試験対策>

卒業生の 70%が「満足(非常に満足・やや満足)」と回答している一方で、10%の卒業生が「不満足(やや不満足・非常に不満足)」と回答している。不満足な理由しては、国家試験対策の内容と人的サポ

ト不足などが挙げられた。

<施設・設備>

本学における施設・設備(講義、実習、臨床自習、研究、図書館、パソコン教室、自習室)に関する満足度調査を実施した結果、全ての項目で約60%以上の満足度が得られた。しかし、学生生活に関わる施設・設備(自習室・学生食堂・体育館・グラウンドなど)に対する「不満足度」が、19%と高かった。特に、自習室の拡充、食堂・コンビニエンスなどの増設や、学習環境(空調など)の改善を求める意見がみられた。

<学生支援について>

学生支援(担任・副担任のサポート体制、科目担当者のサポート体制、国家試験のサポート体制、事務局(教務課、学生課)の窓口対応についての満足度を調査した。その結果、全ての項目において 70%以上の満足度が得られた。今後の学習支援として、アドバイザー制度(メンタリングなど)、キャリア教育、クラブ活動の支援、海外留学の支援、インターンシップ、研究室での活動、ボランティア活動の支援、ピア・サポート制度などの支援を求める意見がみられた。

<部活・サークルなどの加害活動>

卒業生の93%で部活・サークルなど課外活動に参加していたとの回答が得られた。また、課外活動の満足度は84%と高かった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の制限、居住地域の影響で課外活動が難しかったとの意見もみられた。

<大学牛活全般>

卒業生の93%で、大学生活全般に「満足」と回答している。また、76%が本学を卒業することに誇りを感じており。77%が知人や将来の自分の子供に対して獨協医科大学への入学を進めたいという回答であった。大学生活でよかった点として、人間関係、環境、部活動、臨床実習、講義(解剖学)などが個別意見として挙げられていた。また、大学生活でやり残したものとして、海外留学、語学の学習、研究室配属を履修しておけばよかったという意見がみられた。ほかに、新型コロナウイルス感染症にて、部活・サークル活動の制限のため、部活動や学園祭をやりたかったという意見もみられた。

くまとめ>

卒業時アンケートにおいて、本学のディプロマ・ポリシーは、概ね習得されており、教育内容や学生生活全般に対しても概ね満足度が認められた。今後は、社会的視野や国際性、リサーチ・マインドを涵養するような科目の設定や医学以外の将来有用と考えられるような科目(経営・経済学など)の履修設定が望まれる。また、学修者支援体制の構築や学習環境の更なる整備が望まれるものと考えられた。

2022 (令和4) 年度卒業時アンケート結果詳細

問		以下の項目は、	本学医学部の学修成果	(アウトカム)	です。	それぞれの能力をどのくらい身につけ
	ることができましたか。					

■ (a) かなり身についた ■ (b) ある程度身についた ■ (c) あまり身につかなかった ■ (d) 全く身に付かなかった ■ 無回答

●人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他 者に説明することができる。

19.0 % 73.0 % 5.0 %3<mark>.</mark>0 %

●種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。

19.0 % 74.0 % 4.0 % 0 %

●卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。

20.0 % 70.0 % 7.0 % 3.0 %

●医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。

35.0 % 61.0 % 1.<mark>D293. %</mark>

●医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。

42.0 % 54.0 % 1. **D20.** %

●医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。

34.0 % 60.0 % 3.0 % O %

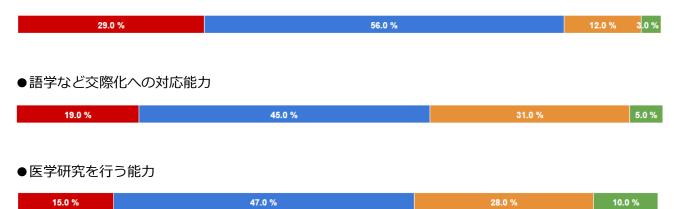
●医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。

27.0 % 65.0 % 4.0 %

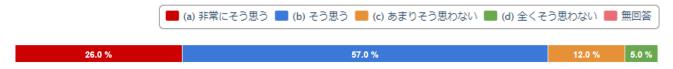
●書籍や種々の資料、情報通信技術 〈ICT〉 などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。

●最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。 5.0 % 16.0 % 60.0 % 19.0 % ●自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。 25.0 % 60.0 % 11.0 % 4.0 % ●保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。 22.0 % 65.0 % 10.0 % 3.0 % ●医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。 18.0 % 55.0 % 24.0 % 3.0 % ●医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。 62.0 % 25.0 % ●多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができ る。 65.0 % 5.0 %3.0 % 27.0 % 問 . 獨協医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身に付けることはできましたか。 ■ (a) かなり身についた ■ (b) ある程度身についた ■ (c) あまり身につかなかった ■ (d) 全く身につかなかった ■ 無回答 ●医師としての倫理観 5.0 %3.0 % 45.0 % 47.0 % ●集団をまとめるリーダーシップの能力 4.0 % 20.0 % 58.0 % ●豊かな教養や人間性 8.0 % 3.0 % 55.0 % 34.0 %

●自分の意見を筋道立てて表現する能力



問. 6年間の教育プログラムは、本学の建学の精神である「学問を通じての人間形成」にあったもので したか。



- □獨協医科大学で教育を受けた次の科目に満足できましたか。
- 問. 獨協医科大学で教育を受けた基本医学教育科目(物理・化学・生物・数学、など) に満足できましたか。



問. 獨協医科大学で教育を受けた「語学教育科目」に満足できましたか。



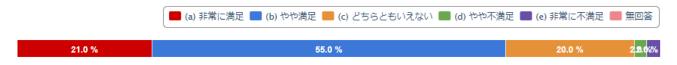
問. 獨協医科大学で教育を受けた「ヒューマニズム教育(地域医療早期体験実習、地域医療学、臨床からの学問のすゝめ、など)」に満足できましたか。



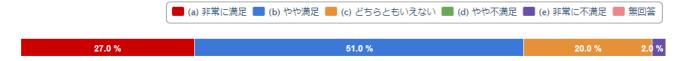
問.獨協医科大学で教育を受けた「少人数教育(PBL テュートリアル、など)」に満足できましたか。



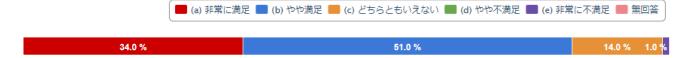
問 . 獨協医科大学で教育を受けた「基礎医学教育(解剖、生理学、生化学、病理学、薬理学、公衆衛生学、など)」に満足できましたか。



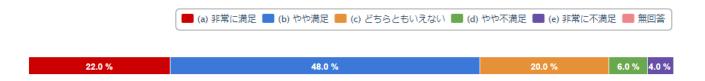
問 . 獨協医科大学で教育を受けた「臨床医学教育」に満足できましたか。



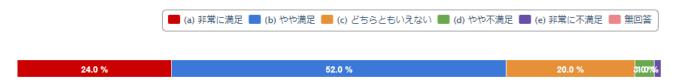
問 . 獨協医科大学で教育を受けた「臨床実習教育(CC、ACC)」に満足できましたか。



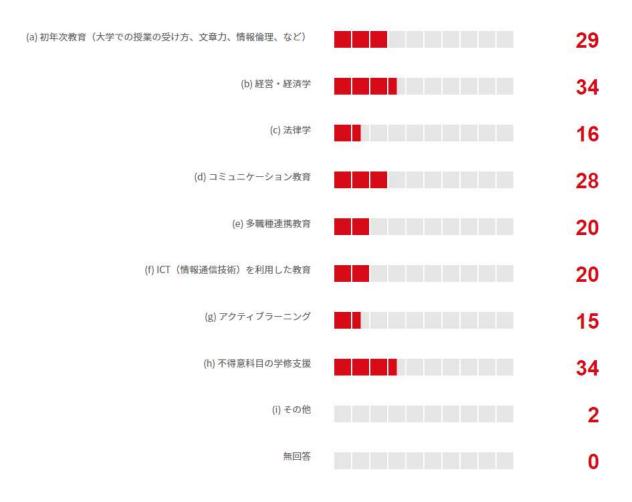
問. 獨協医科大学で教育を受けた「国家試験対策」に満足できましたか。



問. あなたの学修において、6年間のカリキュラム構成は適切でしたか。



問. 今後どの様な教育を充実させるのが望ましいと思いますか。望ましいと思うもの全てを選んでください。



問 . 獨協医科大学の次にあげる施設・設備に満足できましたか。

■ (a) 非常に満足 ■ (b) やや満足 ■ (c) どちらともいえない ■ (d) やや不満足 ■ (e) 非常に不満足 ■ 無回答

●講義に関わる施設・設備(教室環境、音響、空調など)

18.0 % 20.0 % 16.0 % 3.0 %

●基本医学および基礎医学の実習に関わる施設・設備

17.0 % 49.0 % 4.0 % 4.0 %

●臨床実習に関わる施設・設備

22.0 % 55.0 % 16.0 % 4.0 % 0.0 %

●研究に関わる施設・設備

18.0 % 41.0 % 31.0 % 7.0 % 3.0 %

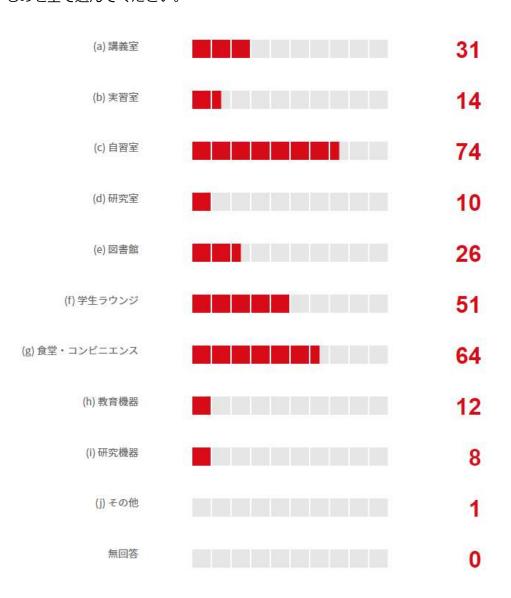
●図書館・コンピューター室

26.0 % 12.0 % 7.0 % 3.0 %

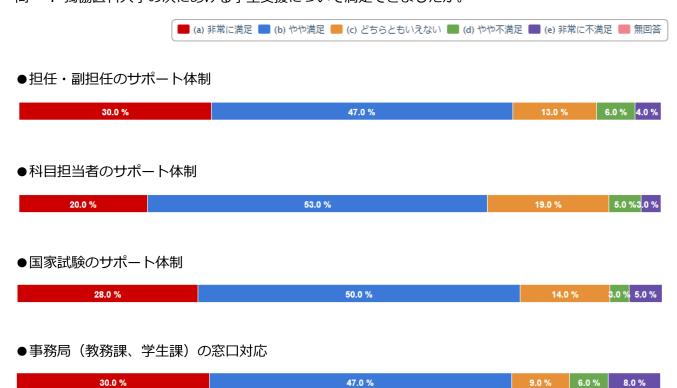
●学生生活に関わる施設・設備(自習室、学生食堂、体育館、グラウンドなど)

18.0 % 47.0 % 17.0 % 13.0 % 5.0 %

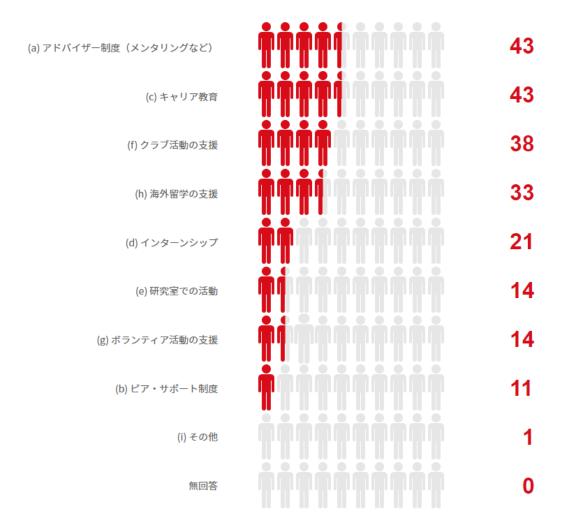
問 . 獨協医科大学では、今後、どのような施設を充実させるのが望ましいと思いますか。あてはまる ものを全て選んでください。



問 . 獨協医科大学の次にあげる学生支援について満足できましたか。



問 . 学生生活を通じての人間形成のために、獨協医科大学が何に力を入れるべきですか。あてはまる ものを全て選んでください。

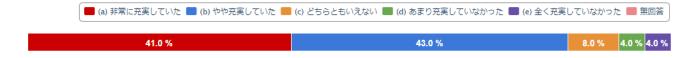


問 . 学友会委員会や部活、サークルなどの課外活動を行っていましたか。

■ (a) はい ■ (b) いいえ ■ 無回答

93.0 % 7.0 %

問 . 課外活動は充実していましたか。



問 . 大学生活全般を振り返って満足していますか。



問 . 獨協医科大学を卒業することに誇りを感じていますか。



問 . 獨協医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたいですか。

